

## ◆資源・環境対策事業

### サンゴ礁生態系保全指導（その1）

八重山農林水産振興センター 鹿熊信一郎

#### 1. 目的

八重山を含め、沖縄の沿岸漁業の漁獲量は急激に減少している。原因は、過剰な漁獲が主因であろうが、サンゴ礁漁場の環境悪化も強く影響していると考えられる。このため、水産業サイドからもサンゴ礁の保全を進めていく。

#### 2. 材料及び方法

今年度は、水産庁の環境・生態系保全対策に関する普及指導を主に実施した。この制度は、全国漁業協同組合連合会（全漁連）が受託した技術支援・普及啓発に関する事業と、全国の活動組織が実施する環境・生態系保全活動支援事業（本体事業）に分けられる。

##### 1) 全漁連事業の委員会

技術支援・普及啓発を行う環境・生態系保全活動サポート推進事業検討委員会に委員として参加した。また、前年度活動を開始した伊江村および今年度開始した伊是名村、大宜味村、名護市に専門家として訪問指導を行った。

##### 2) 事例発表会

2月に長崎で開かれた九州ブロックの環境・生態系保全活動支援事業事例発表会に審査委員として参加した。

##### 3) 講習会

10月に石垣市で開かれた技術講習会（サンゴ礁）に講師として参加した。

#### 3. 結果及び考察

##### 1) 全漁連事業の委員会

全漁連で計4回検討委員会が開かれ、技術支援や普及啓発の方法について検討した。訪

問指導を実施した地区については報告書を作成し、全漁連に提出した。また、サンゴ礁の専門家が少なかったため、日本サンゴ礁学会の会員に個別に相談し、計8名の研究者に専門家として登録してもらった。

##### 2) 事例発表会

九州ブロック大会では、恩納村の活動組織「恩納村美ら海を育む会」の山城氏が発表を行い、中央大会へ選抜された。中央大会は、一般国民への本事業の普及啓発が最大の目的であるため、大臣賞等の選定は行わなかった。

##### 3) 講習会

講習会では、パワーポイントによりサンゴ礁生態系の攪乱要因、保全活動、モニタリングの説明を行うとともに、GPSの使用実習等を行った。今回の講習会はモニタリング技術の習得を主な目的とした。

#### 4. 今後の課題

##### 1) 全漁連事業の委員会

次年度も技術支援・普及啓発に関する委員会に参加する。

伊江村、伊是名村、大宜味村、名護市（羽地・屋我地）では、サンゴの移植が計画されているが、この前提となるサンゴの種苗生産施設の整備および技術の獲得が十分でない。このため、先進地の視察や特別採捕許可に関する勉強会などが必要とされる。